

ニュース

無敵防衛テクノロジーにより敵の発生を防ぐ

2010年9月23日

エクアドルの無敵軍隊：フォトギャラリー

リー・レフラー Lee Leffler

エクアドルでは、軍隊に防衛部門を設立し無敵の防衛テクノロジーを導入した。この部門では、マハリシの超越瞑想とその上級プログラムが毎日大きなグループで実習されている。このグループの人数は、国家に無敵性を創り出すのに十分な数（人口の1%の平方根以上）である。

レフラー博士は、いま超越瞑想の教師を目指している。以下、地球的世界平和の国防衛副大臣のグンターシャッセ中佐からのレポートである。

エクアドルの軍隊におけるヨーガフライヤーの防衛部門



エクアドルには、4種類の軍隊がある。陸軍、海軍、空軍そして軍事警察である。エクアドルを無敵にする防衛部門を設立するために、軍事警察部門が選ばれた。人口1450万人のエクアドルでは、必要とされるグループを創るためには、382人（人口の1%平方根）のエキスパートが必要であった。司令官である将軍は、この構想に大変賛同し、2010年3月8日からプロジェクトを開始するという決定がなされた。



第一のステップ

まずテストケースとして、将軍は、若い兵士達が実戦部隊に配置される前に基本的な軍事トレーニングを6ヶ月間受ける、訓練センターから、2つのグループを選んだ。各々のグループは、300人の兵士からなり超越瞑想が指導された。またその中の200人は無敵防衛テクノロジー（IDT）のエキスパートとなった。将軍は、兵士たちがグループでプログラムを実践する時間と場所をその職務の日課に合わせて設定した。



結果はとても満足の行くものであった

1ヶ月間の実習の後、軍の心理学者達により、プログラムの有効性が調査された。
兵士たちの感想をまとめると以下のようであった。

たいへん実践的な活動だった 96%

完全に満足のいくものだった 95%

ストレスをうまく扱えるようになり、仕事の質が良くなった 92%

人間関係が改善した 96%



軍隊アカデミーへの導入

これらのテスト結果に基づき、将軍は二つのことを決定した。

1. 超越瞑想とその上級テクニック（無敵防衛テクノロジーの実用面）をエクアドルの無敵性を達成するため直ちに2つのトレーニングユニットに導入する。
2. 若い将校が受ける、4年間のナショナルアカデミーの訓練に、プログラムの導入を検討する。



将軍は、プログラムに参加する新しい将校を任命した。そして現在339人が無敵防衛テクノロジーのエキスパートになっている。今年の後半には、さらに400人が加わる予定のため、合わせて739人の無敵防衛テクノロジーのエキスパートがアカデミーにできることとなる。つまり彼らを、トレーニングセンターの2x200人の無敵テクノロジーエキスパートに加えると、総勢1139人が今年の後半に揃う。目標は、少なくとも1000人の無敵テクノロジーのエキスパートが定期的にプログラムを行うことだ。



アカデミーの訓練プログラム

超越瞑想とその上級プログラムのグループ実習に加えて、4年間のアカデミーの訓練プログラムには、週毎に1時間にも及ぶ、無敵性の理論を学ぶ講義も含まれている。

さらに超越瞑想の教師養成コースが、カリキュラムに組み込まれる予定だ。そうすれば、軍隊で自前のTM教師が持てるため、無敵テクノロジーが継続的に行われ、必要とされるエキスパートの数が、常時確保されることとなる。

このプログラムは、すでにアカデミーの19歳から24歳の士官候補生を対象に実施されている。

